

令和 3 年 6 月 21 日

## 早期水稻情報 第 2 号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

田植え後から現在までの気象は、気温は平年並みからやや高く、降水量は多く、日照時間はやや少なく経過しました。

草丈はやや低いが、茎数は有効茎（株当たり約 20 本）が確保され、生育は良好です。今後 6 月下旬には幼穂形成期になると思われます。

### 1. 水管理

生育が概ね順調なほ場では、すでに中干しを終え、間断かん水を行っているところです。今後、穂ばらみ期からは湛水状態にします。

☆生育調査結果☆(定点調査圃場)

【福津市津屋崎地区】

調査月日	5 月 28 日		6 月 10 日		6 月 18 日		葉色
調査項目	草丈 cm	茎数 本数/m <sup>2</sup> (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/m <sup>2</sup> (前年比)	草丈 cm	茎数 本数/ m <sup>2</sup> (前年比)	
コシヒカリ	26	142 (143%)	39	345 (223%)	53	406 (252%)	3.5
夢つくし	23	112 (82%)	34	320 (106%)	47	527 (210%)	3.8

### 2. 穂肥

穂肥は、籾数の確保を図るために欠かせません。施用時期が早すぎると、下位節間（第一伸長節間）が伸長して倒伏しやすくなります。ほ場を見て状況に応じて施用してください。幼穂が 5 mm 程度確認できたら穂肥を施用してください。

【穂肥の目安】



6 月上旬  
ほ場一面一様に濃い緑



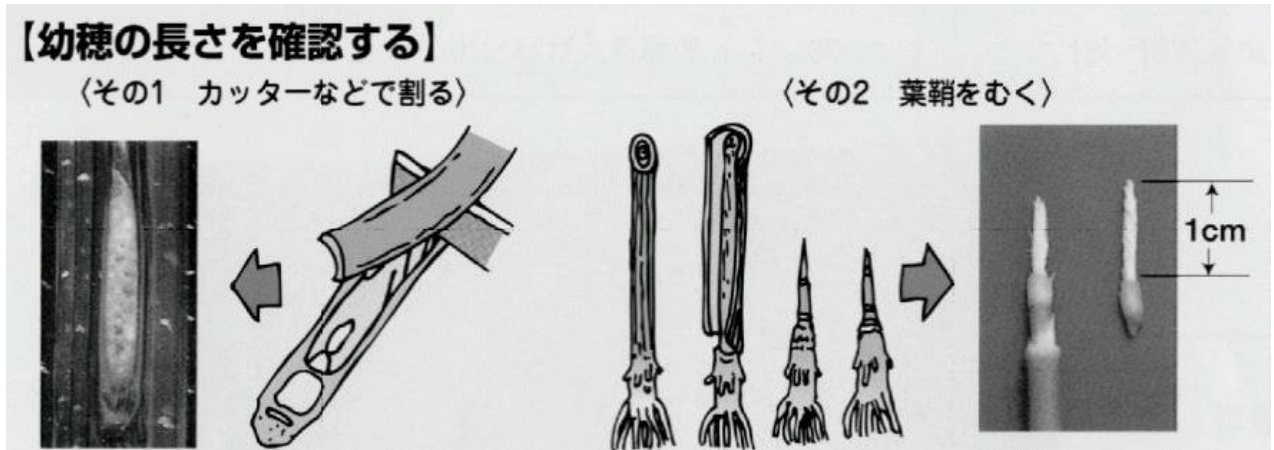
6 月中旬～  
地力窒素の発現が低下し、ほ場に濃いとところと薄いところの色ムラができる。穂肥時期は近い。



6 月下旬～  
ほ場全体が薄くなり、色ムラがなくなる。この時期に茎をむいて、5～10ミリの幼穂を確認したら穂肥時期

※葉色がやや濃い場合は、施用時期を数日遅らせ、施用量も控えめにしてください。また、葉色が薄い場合は幼穂を確認し、幼穂が5mm程度確認できたら穂肥を施用してください。

ほ場によって生育（幼穂長や葉色）が異なります。ほ場を確認してから施用時期、施用量を決めてください。



### 3. 病害虫防除

#### 【いもち病】

いもち病を見つけたら、直ちに下記の薬剤を散布してください。

病名	薬剤名	散布量 (10a 当たり)	散布時期
いもち病	コラトップ豆つぶ	250g	・葉いもち 初発10日前～初発時 ・穂いもち 出穂30日前～5日前まで
	ノンブラスフロアブル	1000倍	発生初期 (収穫7日前まで)
	ビーム粉剤DL	3～4kg	発生初期 (収穫7日前まで)

#### ★海外飛来性害虫

本年は、梅雨入りが平年に比べて早かったため、トビイロウンカの飛来が平年に比べて非常に早く、5月10日(去年は5月18日)に確認されています。過去10カ年で最も早くなっています。今後も気象条件によっては飛来も多くなる可能性がありますので、必要に応じて防除を行いましょう。